

県大 jiman

滋賀県大イベントカレンダー

- 1月**
30日(火)～2月5日(月) 後期定期試験
- 2月**
9日(金)～11日(日) 地域活動実践ターム (未定)
25日(日)～26日(月) 一般選抜試験 (前期)
- 3月**
12日(火)～13日(水) 一般選抜試験 (後期)
12日(火)～4月4日(木) オリエンテーション (在校生)
20日(水祝) 学位記授与式
- 4月**
4日(木)～6日(土) オリエンテーション (新入生)
5日(金) 入学式
8日(月) 前期授業開始
- 5月**
11日(土) TOEICテスト
- 6月**
8日(土) 体育会「京滋戦」 (未定)
15日(土) 大学祭「湖風夏祭」 (未定)
- 7月**
20日(土)～21日(日) オープンキャンパス (未定)
30日(火)～8月5日(月) 前期定期試験

▽県大jiman33号についてご意見をお寄せください。
(下記QRコードを読み取ると、Webからアンケートの回答ができます)



特集1 県大生留学物語

特集2 未来キャリア戦略

特集3 県大生持ち物スクラップ

教員紹介 大江由起 講師

After School Report ボランティア部 Harmony

コラム 京滋戦

県大 jiman

今回のテーマは「からふる」です。

県大では個性豊かな学生が様々な分野を学び、将来に向かって邁進しています。

なかには滋賀、そして日本を飛び出して活躍する学生、海外から滋賀へと活躍の場を広げる学生もいます。

そんなからふるな滋賀県立大学を覗いてみませんか？

CONTENTS

特集

- 03 県大生留学物語
- 05 未来キャリア戦略
- 07 県大生持ち物スクラップ

県大 REPORT

- 09 突撃!! jiman な先生 大江 由起 講師
- 11 After School Report ボランティア部 Harmony
- 12 コラム 京滋戦
- 13 大学の防災について考えてみよう

特別企画!!

理事長インタビュー



今回は特別企画として、今年度より理事長・学長に就任された井手 慎司理事長にインタビューしました。



本誌にちなんで、理事長の感じられる滋賀県立大学の jiman なところを教えてください。

1つ目はキャンパスですね。建物だけでなく、その周りの外構も含めてとてもきれいだと思います。もともとこのキャンパスは自然公園をイメージして作られていることもあって、緑が多いところも jiman です。

2つ目は学生さんですね。うちの大学では近江楽座などで学生が地域に入って活動することを奨励しています。そうすると多くの場面で地域の方から感謝やお褒めの言葉をいただきます。そういった言葉を聞くと、とても誇らしく感じます。

3つ目は卒業生です。1995年に4年制の大学になって

から累計1万3000人ほどの卒業生がいます。それより前の短大時代の卒業生を合わせるともっと多いのですが、初期の卒業生になると会社の組織の中堅あるいは幹部クラスになっています。卒業生に会うと、滋賀県立大学の卒業生であることを誇りに思ってくれていて、非常にうれしい、誇らしい。そこが jiman です。

理事長になられて、この滋賀県立大学がもっとこうなればいいという点がありますか。

私が理事長・学長に就任した時の所信の1つとして「学生も教職員もともにファーストと考えられる大学」を作りたいと言わせていただきました。学生さんであれば入学してよかったと思ってもらえるような、教職員であれば、働いてよかったと思えるような大学にすることです。そうすれば、それは学生にとっても、教職員にとっても魅力ある大学になって、さらに言うと内側にとって魅力ある大学になれば、おのずと外側からみても魅力ある大学になると考えています。ですが、何をしてもよかったと思ってもらえるかは、とても悩ましい問題で、満足したかどうかの基準は人それぞれです。特定の何かをやらなければならないという問題ではなく、そのやり方を考えるべきだと思います。学生さんも教職員も一緒になって考えて、話し合っ、共有して、こうしていこうと決めてやってみる。上手くいかなかったら別のやり方でやってみる。魔法のようなやり方がひとつあって、それさえやれば急によくなるというのはあり得ないので、小さな積み重ねで少しずつ良くなっていくしかないと思っています。

本誌33号のテーマにちなんで滋賀県立大学のからふるなところはどこだと思いますか。

やはり、jiman なところと同様に、キャンパスと学生さんですね。

キャンパスは理事長・学長になって改めて隅々歩いてみましたが、桜だったり、生協の食堂から見えるハナミズキだったり色とりどりの花が季節ごとに咲いてとてもきれいです。皆さんも、機会があったらぜひ散策してみてください。意外といろんなところに、「あ、ここなんか気持ち良い」というお気に入りのスポットが見つかると思います。

そして、地域で活動している学生さんや、部活を一生懸命やっている学生さんなどいろんな分野で活躍している学生さんがいて、そういった意味ではからふるだと思います。また、大学での調査研究や近江楽座などを通して地域と関わることが、学生の皆さんの成長に繋がり、それが一人ひとりの色とりどりの個性を生み出していると思います。



これからも学生の皆さんの活躍に期待しています。

編集後記 テーマ：私を表す色



「翠」

最近、クローゼットがミドリに染まりはじめました。推しの影響って半端ないですね。

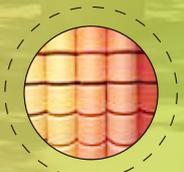
地域文化学科2年 小畑結子



「紫」

情熱・冷静の赤と青で構成された紫。両方を持ち合わせた人になりたい!

地域文化学科2年 清水理子



「赤」

私の大学の抱負「人生、気合いと根性」を表す色。どんなことにも気合と根性で努力したいです。

地域文化学科2年 堀 絢音



「青」

バスケの試合の時必ず履いていた靴下です。この色と靴下を見る度に高校時代の熱い思いが思い出されます。

地域文化学科2年 米山さくら



「青」

晴れた日の海や空のように、広くスッキリした心を持った人になりたい今日この頃です...

地域文化学科1年 知念武玖



「黄」

生まれた時からこの色に包まれています。周りを明るく賑やかにしていきたいです。

OB 高杉昭吾

事務局
西村知子 細川芽衣子



X: @kendaijiman

年2回発行

夏号7月上旬

冬号2月下旬

学生広報スタッフ大募集!

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。

私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。デザインや編集の専門知識がなくても大丈夫です。

外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

Mail: kendaijiman.tw@gmail.com

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第33号
発行 | 滋賀県立大学広報戦略委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2024年2月
www.usp.ac.jp
紙面デザイン: 学生スタッフ

担当スタッフ: 堀 絢音 撮影場所: 環境科学部棟歩廊 02

Columbus

留学で日常にからふるを！

県大生留学物語

滋賀県立大学にはたくさんの学生が留学に来ています。留学生の母国やその国の文化について知ることは、日常を「からふる」にしてくれるのではないのでしょうか。そこで今回は、留学生の皆さんや留学をした県大生からお話を聞いて経験をシェア。大学生活に新しい彩りを加えてみましょう！

01 From China 中国

出身地と、自国の jiman できる点や特徴をひとことで教えてください！
上海市 / 「中国料理」



留学しようと思ったきっかけは？
家族からの勧めです。

県大の中でおすすめスポットはどこですか？
キャンパス中央の芝地。
荒神山が見えて、自然に癒される場所だからです。

自国の文化と日本の文化を比べて、おもしろいと思った違いがあれば教えてください。
日本の餃子ではキャベツが定番の具のひとつですが、中国ではキャベツ入りの餃子を食ったことがありません！

私費留学生（人間文化学部 生活栄養学科）1年生
吉仁昊さん

02 From Australia オーストラリア

出身地と、自国の jiman できる点や特徴をひとことで教えてください！
スプリングウッド / 「美しく多様な景色・先住民の文化」



留学しようと思ったきっかけは？
ずっと日本語が綺麗だと思っていたので、言語を学ぶと同時に、人々に出会い、日本の真の文化や社会を体験したかったからです。

自国の文化と日本の文化を比べて、おもしろいと思った違いがあれば教えてください。
県大は出身大学よりも歓迎されていると感じさせてくれました！先生方や学生たちはとてもフレンドリーで親しみやすいです。大学のイベントやクラブ活動に参加しようという気持ちになったのは、4年間の大学生活で初めてです。

交換留学生（人間文化学部 国際コミュニケーション学科）
MCLELLAND WEDNESDAY さん

03 From Ukraine ウクライナ



出身地と、自国の jiman できる点や特徴をひとことで教えてください！
チョルノモルスク / 「母国の人々の強さ」

留学しようと思ったきっかけは？
全く違う文化や習慣を体験してみたかったからです。

県大の中でおすすめスポットはどこですか？
食堂近くのベンチがある小さな空間です。とても穏やかで、リラクセスして休憩ができます。

自国の文化と日本の文化を比べて、おもしろいと思った違いがあれば教えてください。
日本の人々は礼儀正しいですが、ウクライナの人々は率直です。でも、どちらも迷信を信じるのが一般的であるという興味深い共通点があります。

私費留学生（環境科学研究科環境計画学専攻）1年生
STAVNIICHUK MARYNA さん

04 From Indonesia インドネシア



出身地と、自国の jiman できる点や特徴をひとことで教えてください！
ベカロンガン / 「伝統的なパティックの街」

留学しようと思ったきっかけは？
日本の機械技術はアジアで最先端であり、また日本の文化にも興味があったからです。

滋賀県立大学の良いところはなんですか？
学生の指導への先生方の熱意が感じられるところ。大学も学生をすごく大切にしてくれるように感じます。

自国の文化と日本の文化を比べて、おもしろいと思った違いがあれば教えてください。
地元では箸よりスプーンの方がよく使用されるため日本に来てすぐの頃は見慣れませんでした。

私費留学生（工学部 機械システム工学科）1年生
PANDE PUTU MARCO SURYA PRATAMA さん

県大から各国へ！

留学経験者インタビュー



滋賀県立大学

To アメリカ

America

留学しようと思ったきっかけ

高校生のころから英語に興味を持っており、深く学ぶなら言語だけでなく実際に現地に行って文化も吸収したいと思ったからです。

留学前と比べて自分が成長したと感じる点

前よりも動じなくなったことです。頻繁にハプニングが起きるアメリカで毎日それに対応しているうちに、全てのことは解決するし、なんとかなると思えるようになりました。

留学中の1番思い出深い出来事

私の誕生日に、現地の友人たちが野外でサプライズパーティーを開いてくれたことです。20人近く集まってくれて、動画や日本料理なども作ってくれたことにとても感動しました。

留学に行ったからこそ感じる県大の良いところは？

留学前の準備や奨学金などのサポートが整っているところです。また書類の記入や分からないことについての質問など、様々な面でお世話になりました。

留学を考えている人にひとこと

行く前は不安もあるかもしれませんが、毎日ワクワクすることがいっぱいだった後にはネガティブな感情は一切ないと思います。違う国で味わう文化、言語、人々はすごく素敵で魅力的です。時間のある学生のうちに、ぜひ楽しんで行ってください！

国際コミュニケーション学科 3年生 大山 瑠姫さん
留学期間：2022年8月 - 2023年5月
留学先：オーバーン大学（アメリカ）



滋賀県立大学

To 台湾

Taiwan

留学しようと思ったきっかけ

語学（中国語・英語）の習得と、より専門的な工学を海外で学びたかったからです。独特の文化や世界シェアの半導体技術に魅かれて、台湾行きを決めました。

留学前と比べて自分が成長したと感じる点

まず語学については、中国語はあまりできない状態から日常会話レベルの語学力を身につけることが出来ました。外国人留学生との交流を通して英語にもたくさん触れられました。工学分野については、自分でプログラムを書いてロボットを設計するなど実習中心の講義を通して成長することが出来たと思います。

留学中の1番思い出深い出来事

現地で友達になった留学生たちと6人で、高雄へ国内旅行に行ったことです。有名な観光地を訪れたり、夜市に行って晚ご飯を食べたりしました。会話に一切の日本語がない、貴重な経験となりました。

留学を考えている人にひとこと

言語を学び、異なる文化に触れながら専門分野の勉強ができた1年間は私にとって非常に大きな財産です。ぜひ、皆さんも自分が歩むキャリアの中に留学を検討してみてください。たとえ短い期間であっても、きっと良い機会になると思います。



電子システム工学科 3年生 呉松 徹哉さん
留学期間：2022年8月 - 2023年6月
留学先：中興大学（台湾）

留学に行きたいと思ったら…

✓ 語学力の向上

交換留学では留学の条件として語学のスキルが重要視されます。留学先の言語に触れてみる機会をぜひ増やしてみてください。TOEFL などへのチャレンジもオススメです！

✓ 説明会への参加

滋賀県立大学では7月と11月の年2回、交換留学説明会を行っています。留学に興味を持ったなら、まずは説明会に参加して話を聞いてみるのも良いかもしれません。

✓ 留学ガイドブック

大学ホームページでは、多種多様な留学情報を得ることができる国際交流・留学情報のページがあります。その中でも「留学ガイドブック」には手続きの流れから留学先の紹介まで、内容が盛りだくさん！ぜひチェックしてみてください。



詳しく知りたい方は
AO棟 学生支援センター内 **国際化推進室窓口**まで！

jiman スタッフと一緒に考える！

未来キャリア戦略



県大 jiman
学生広報スタッフ
(地域/2年生)

jiman スタッフ 2 年生。最近よく周囲から就職や進学の話題を聞くように。今の所何もしていないけれど、このまま 3 年生を迎えるのは不安…。この機会に進路担当の方にインタビューをしてみよう！

学生・就職支援課の谷村です。今回は県大実施のセミナーや学生が自由に利用できるサポートに加えて、**就活を始めようとしている人にぜひ取り組んでほしいことや、進路を考える上で大切にしてほしいこと**もお伝えします！



谷村泰宏さん
(学生・就職支援課)

1 県大のキャリアサポート

- 1 年生**
 - 【前期】 キャリア形成への道 A
 - 【後期】 地域産業・企業から学ぶ社長講義
- 2 年生**
 - 【前期】 キャリア形成への道 B
 - 【夏季】 キャリアステップ (就業体験)
- 3 年生**
 - 【年中】 公務員試験対策講座
 - 【夏季】 インターンシップ (就業体験)
 - 【1月】 学内業界研究会
 - 【3月】 採用広報開始
- 4 年生**
 - 【6月】 選考開始
 - 【6月～】 内々定

1、2 年生では社会人基礎力を養成。2、3 年生では実際に社会に出て練習を重ねます。そして 4 年生の春から就活が本格化します。

就活を終えた 4 年生の声

取り組んでおいて良かったことは、**多種多様な説明会やインターンシップに参加したこと**です！就活初期には知らなかった、意外に自分に合うかもしれない業種に出会えました。自己 PR を考える時には、小学生の頃まで遡って自身の経験や人間性を探りました。

2 大学協定型就業体験

前期の選択科目の中に「キャリアステップ (2 年)」「インターンシップ (3 年)」があるのをご存知でしょうか？これらの講義の中には大学と協定を結んでいる企業等への就業体験が含まれています。企業に行く前にはビジネスマナー研修を、後には報告会をするなど、大学側が活動をサポートします。受講するには 4 月末の説明会に参加し、申込をする必要があります。



3 潜入！キャリアデザイン室 (A0 棟 2 階)

ここでは就職関連の書籍の貸し出しや先輩のエントリーシート (ES)、面接の記録の閲覧ができます。参考図書とは違い、同じ学科の先輩のリアルな就活記録が見られるのはこの場所だけです。県大ポータルサイト USPo から予約をすれば ES の添削や面接の練習が受けられます。

▽入室に予約は不要！



△マンツーマンで相談できます



毎年配布している『就職応援ブック』には、企業リストや選考の流れなど沢山の情報が詰まっています。今年度は 1 月に発行され、3 年生と大学院 1 年生には郵送されます。

谷村さんから県大生へ

就活生の皆さんは**内定を取ることが目的になりがち**です。なかなか進路が決定しないと、焦ってとりあえず内定がもらえた所に決めてしまう人がいます。人生を左右する大切な決断ですから、自分のやりたいことをみつけて自信を持って進路決定をしてほしいと思っています。そのためにも早いうちから**色々な業界を比較し、視野を広げ、納得のいく進路に進んで欲しい**と思います。私たち学生・就職支援課は、県大生がより良い進路決定ができるように全力でサポートします！

就活のメインは 3、4 年だと聞きましたが、1 年生や 2 年生からでもできることはありますか？

まずは自己分析をしてみましょう。大学生活をどう過ごすかを考えることは、就活に必要な**ガクチカ** (学生時代に力を入れたこと。履歴書に記入したり面接の際に聞かれたりする) を意識し始めるきっかけになります。毎週開催している就活セミナーにもぜひ参加してみてください。近年就活の早期化が進んでいますので、**2 年生の参加も大歓迎です。公式 LINE で最新のプログラムスケジュールが確認できますので、今すぐに友だち登録することをオススメします。予約不要のものや、プレゼントが貰えるものもありますよ！**



公式 LINE で情報を逃さない！

学年問わず、就職希望の方はぜひ登録してください



県大生持ち物スクラップ

今回、全学科の学生を対象にしたアンケートを行い県大の各学科や、学生個人にとって必須の持ち物について調査しました！あなたの大学生活や学びを「からふる」にしてくれるものについて紹介します。普段ではあまり知ることのない他学科の学びを知れるかも！？県大生の持ち物から、県大の学びや各学科の学生たちの大学生活を覗いて行きましょう！

クロッキー帳

アイデアを書き留めたり、板書に使ったりしています。

生活デザイン学科

カラフルな野帳

ゼミや就活など、野帳の色で場面ごとにメモ帳として使っています。

地域文化学科

ファイル・筆記用具

私たちの学科では教科書を扱う講義があまりなく、レジュメを整理して入れるためにファイルは必須です！

人間関係学科

単語帳

時間がある時に単語帳を見て、英語力向上を目指して日々勉強しています！

国際コミュニケーション学科

教科書・バインダー・クリアファイル

栄養学科は板書やプリントが配られることが多いので、プリントやルーズリーフをまとめるファイルは必須！

生活栄養学科

お団子ネット

授業や実習の際に、長い髪をまとめる時に使っています。

人間看護学科

スケッチブック・カッター・ピンセットなど

設計演習の授業などで模型、プレゼンボード制作の時に使います。スケッチブックはアイデアが思い浮かんだ時にスケッチできるように持ち歩いています！

環境建築デザイン学科

白衣

皮膚に付くと良くない薬品や、衣服に付くと取れない薬品を用いる時に使用します。

生物資源管理学科

鉛筆

顕微鏡で様々な生物を観察し、それらをスケッチする時に使っています。

環境生態学科

コピー用紙

課題や資料をコピーしたいときにすぐに取り出せると便利です！

環境政策・計画学科

パソコン

毎週実験を行うのですがその報告書をかいたり、板書もパソコンを使ったりと日常的に重宝しています！

電子システム工学科

関数電卓

指数関数や三角関数の計算の時に使います。テストでも使用するので必需品ですよ。

機械システム工学科

保護メガネ

実験の時に薬品が目に入らないように使っています。

材料化学科

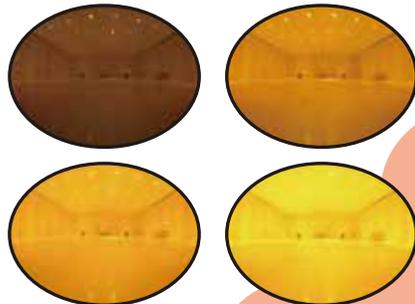
突撃!! jimanな先生

今回の「突撃!! jimanな先生」では、33号のテーマである「からふる」にちなんで、光環境と色彩環境が専門の大江由起講師にお話を伺いました。先生の専門や研究の魅力、県大の「からふる」なところなどを話してくださいました。

先生の専門について教えてください。

専門は建築環境工学という分野で、中でも光環境と色彩環境が専門になります。建築は建物を設計したり製図やインテリアの配置を考えたりする計画系、空気や熱、音や光といった要素をどのように変化させると人は快適に過ごせるのかを考える環境系、そして建物の構造や材料を研究する構造・材料系の3つに分かれています。私の研究はその中の環境系に属していて、照明の色やオンオフを変えたり光や色を測定したりして、光や色の変化と人の感じ方との関係を調べています。私は環境建築デザイン学科ではなく、生活デザイン学科で光環境を中心に教えています。どの建築学科でも光環境を学べるものではないですし、大学や学部によっては音や熱が専門の先生が光も教えている場合もあって、建築学科ではない学科で光環境を教えているのは少し珍しいのかもしれない。

私の研究対象は体育館・美術館などの公共空間や住宅の光環境で、今は学校の体育館の照明と公園の照明を中心に研究しています。体育館の照明はスポーツをするときにボールやラインが見える明るさを確保するよう設計されています。しかし、体育館が避難所になった場合、避難者が寝るときに体育用の照明を点けると眩しすぎますし、全部の照明を消してしまうと真っ暗で不安を感じます。そのため、避難時には照明をどの程度抑えた



▲模型を使った体育館の照明の実験

らいいのかや、どこの照明をどのように点けると不安を軽減できるのかについて調べています。現在は大学の教室を使用して、実際に簡易ベッドで寝転んだときの見え方や感じ方の評価を行っています。教室での実験の後に、体育館でも同様の実験をする予定です。公園の照明については、暗くて人がほとんどいない南草津駅前公園に照明を設置して人を惹きつける効果が演出できないかを考えているところです。これからは実験を数回行って、照明の設置によって公園の利用者や滞在時間がどの程度増えるかを調査する予定です。



▲南草津駅前公園での実験の様子

研究を始めたきっかけは何ですか？

原体験というと少し大げさですが、私が幼い頃に発生した阪神淡路大震災で被災した時の経験がきっかけです。その際に点けたキャンドルの小さな炎を見てすごく安心したので、幼い頃から光が持つ力を感じていました。その後、学生時代に東日本大震災が発生しました。当時は震災の影響で省エネが重要視され、照明も蛍光灯からLEDへと変わり始めた時期でした。そのような背景があってLEDの可能性に興味を持ったことと、大学に光環境が専門の先生がいらっしゃったことがきっかけで研究を始めました。修士課程修了後は電機メーカーに就職して、企画開発や技術企画の部署で、大学や大学院で学んだことを活かして照明器具を製品化することに関わっていました。後にメーカーは照明事業から撤退したのですが、このときにもっと照明の研究をしたいと思って博士後期課程に進み、今に至ります。

研究の魅力を教えてください。

衣食住は自分だけではなく全ての人に関わることで、研究の成果が生活に直結するところはやはり面白いと思います。私の研究は住宅の光環境だけでなく、避難所や公園などの公共空間の光環境も対象としているので、自分の身近な空間のことを考えられることは魅力の1つだと思います。

研究で大切にしていることはありますか？

光や色の定量的な部分に対して、人がそれぞれどのように感じるのかを繋げるにはどうしたらいいかということはずっと課題として持ち続けています。また、研究を進める

上では失敗しても諦めない精神も大事にしています。好きなことを軸にして仕事ができるのは本当に幸せだと思っていますが、研究は必ずしも楽しいことばかりではありません。解析や実験に失敗することもたくさんあります。そこで心が折れてしまうのではなく、どこが問題だったのか、次はどのようにしたらいいのかを考えてやっていくことの面白さもありますし、解析や実験が成功して成果が出たときの喜びのためにも諦めずに頑張っています。

県大のいいところを教えてください。

人と人の結びつきが強いところがいいところだと思います。前任の大学では同じ学科に同じ学年の学生が100～150人程いたので、研究室に配属されるまで学生同士で同じ学年かどうか分からないということや、1度も喋ることなく卒業することも普通にありました。しかし、県大では、課題やレポートを学生同士で一致団結して取り組み、一緒に授業を乗り切ろうとする雰囲気があり、学生間の結びつきの強さを感じています。

他には教員と学生の距離も比較的近く、お互いにいろいろな関係を持つことができるのはいいところだと思います。私の研究室には色や明るさを変えられるランプを設置しているのですが、研究室の学生と一緒に季節に合わせて色を変えて、色が空間や人に与える効果の学びも兼ねて楽しんでいます。また、研究室の学生はもとより、自分の学科に所属している他の学生が今のような状況にあるかが分かったり、別の研究室の学生から卒業制作の相談を受けたりすることで、学生との距離の近さを感じています。

県大の「からふる」なところはどこですか？

学生と接して、やはり色々な個性という意味での「からふる」があると思います。同じ生活デザイン学科の中でも服飾・住居・道具・構想のそれぞれに進む学生がいて、一人ひとりの学生がいろいろなことに興味を持っています。学生の「からふる」な個性と触れることは、研究に関することでもプライベートなことでも、教員側としてもすごく刺激的だと思っています。また、同じ学科であっても先生によって専門が異なっていることも「からふる」の1つだと思います。

最後に一言お願いします！

大学で「人としての軸作り」のお手伝いを教員として出来たらいいなと思っています。最初は細い軸でもどんどん太くしていくこともできますし、枝を広げていくこともできますので、器にこもったままではなくどどんいろんなことにチャレンジしてみてください。学生の時期はすごく貴重で、色々なことを新鮮に感じられるすごく大事な時期ですので、ぜひ外に出ていろんな刺激を受けてほしいと思います。

人間文化学部 生活デザイン学科
大江 由起 講師

After School Report

ボランティア部 Harmony

今回の After School Report は近江楽座「ボランティア部 Harmony」さん取材しました。何代も続いている活動について、元代表の3年生西村侑花さんと代表の2年生高田夏千さんにお話を伺いました。

どのような活動をされていますか。

月に1回の定例活動では障がい児・者の方が、油絵や茶道の体験など余暇活動を行うときの支援を目的に活動しています。油絵体験では、美術の先生をお招きして、障がい児・者の方の描く油絵に対してアドバイスをいただいています。この体験は障がい児・者の方が油絵を描くので、学生はサポート役です。一方で、茶道の体験は、学生が茶道の作法を学んで、それを障がい児・者の方に教えながら一緒に楽しむ形で活動しています。

また、定例活動以外にも年に数回イベントを行っています。毎年行っている活動では11月のクリスマスコンサートが挙げられます。学内外からお客さんをお呼びして、大学内の音楽系サークルさんに演奏していただき障がい児・者の方だけでなく地域の方々にも楽しんでもらうものです。

今年初めて行った活動は、近江八幡市での水郷巡りです。この活動は、障がい児・者の方とその家族と学生でみんなで船に乗って、一時間半ぐらい近江八幡市の川を巡りました。

活動を通してもらったやりがいや大変だったことはありますか。

普段、障がいのある方と出会う機会がなかなかないので、この活動に入った当初は関わり方や接し方に悩んだ時期もありました。ですが、だんだん障がい児・者の方との活動を重ねることに、障がい児・者の方から楽しそ

うな反応とか、こういうことを思ってますよという表現をしてくれるようになりました。今まではそういう表現がなく、障がい児・者の方の気持ちが分からなかったので、リアクションがあると「楽しんでくれているんだな」とこちらも分かり、それが自分の中でやりがいに繋がっています。

一言で障がいといっても自閉症の子もいればダウン症の方もいます。同じ障がいでも程度が違うとその方の性格も含めて接し方を変えていかなければいけないのが大変だと思います。結構強いこだわりを持った方が多いので、私たちから「油絵を描こう」と言っても気分じゃないと参加してくれない時もあります。そういう時は、いかに興味を持ってもらうか工夫したり、障がい児・者の方の集中力をもたせられるよう工夫したり、いい作品にしようにはどうサポートしようか、考えることが大変です。しかし、そのようなことも含めてやりがいがあります。

この活動のからふるなところはなんですか。

他のクラブやサークルよりも活動の幅が広く、イベントごとに様々な場所に行くことで多くの経験・体験を共有することができるからふるなところであり良いところだと思います。

また、障がい児・者の方の描いた絵は同じモチーフでも大きさ、色、描き方が異なります。それは、障がい児・者の方の個性が表現されていてとてもからふるだと思います。



前代表3年 西村侑花さん (右)
代表2年 高田夏千さん (左)



活動日：月1回(土日いずれか)
活動場所：学生ホール
部員数：20人
連絡先：SNSを参照

担当スタッフ：堀 絢音

古都と湖都の激突

滋賀県立大学 VS 京都府立大学

京滋戦

部活動の熱き闘い11月25日あり

今年度の総合優勝は滋賀県立大学に決定
今年度第26回の京滋戦は「古都と湖都の激突」をキャッチフレーズとし、2023年6月10日(土)に滋賀県立大学で行われました。様々な競技を通して試合が行われ、両校のスキルアップと同時に親睦を深める場にもなりました。
今年度の結果は、男子の部は滋賀県立大学、女子の部は両校ともに優勝、総合優勝は滋賀県立大学となりました。昨年度(第25回大会)に引き続いての総合優勝でした。



京滋戦の歴史

京滋公立大学総合競技大会は、滋賀県立大学と京都府立大学で年に一度行われる体育会系クラブの交流戦で通称「京滋戦」と呼ばれています。開催場所は1年ごとに交代で担当しており、各大学の体育会が主催する中でも最も規模の大きい行事のひとつです。1998(平成10)年に第1回が行われ、近年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で全面中止や一部開催の年もありましたが、今年も制限なく第26回大会を迎えることが出来ました。
令和6年の京滋戦は京都府立大学で行われます。ぜひ、応援に行きましょう!

【第26回(令和5年)種目別結果】

滋賀県立大学		京都府立大学	
○	バスケットボール(男子)	●	硬式テニス(男子)
●	バレーボール(男子)	○	軟式テニス(男子)
●	バレーボール(女子)	○	卓球
○	バドミントン(男子)	○	弓道
○	バドミントン(女子)	○	硬式野球

担当スタッフ：清塚 理子 小畑 結子

大学の防災について考えてみよう

滋賀県は災害が少ない県だと言われることがありますが、本当でしょうか？たしかに滋賀県を震源とする大きな地震は近年起こっていませんし、内陸県のため津波の影響もないように思えます。しかし、過去が安全であったからといって、未来も安全であるという保証はありません。実際に県内にはいくつもの活断層があり、これらの断層を震源とした大地震が発生する可能性も指摘されています。『もしも』のときに備え、災害が発生した際に迅速かつ安全に避難ができるよう、今一度防災について考えてみましょう。滋賀県立大学では、例年 11 月に消防総合訓練を実施しています。在学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

【滋賀県で大地震は絶対に起こらない？】

残念ながら答えは「起こりえる」です。実は以下のとおり県内やその周辺部には多くの活断層が存在します。

- ①琵琶湖西岸断層帯 → 震度 6 弱 (彦根市最大)
- ②三方・花折断層帯 → 震度 5 強
- ③木津川断層帯 → 震度 5 強
- ④鈴鹿西縁断層帯 → 震度 7
- ⑤柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯 → 震度 6 強

どの断層帯の地震も発生すると彦根市の予測震度が大きいことがわかりますが、そのなかでも鈴鹿西縁断層帯を震源とする地震は、震度 7 1) と最も大きく、さらに断層の延長線上に大学が立地していることから特に影響が大きいと考えられます。ちなみに、プレート境界型地震で発生が危惧されている南海トラフ地震の場合でも彦根市の予測震度は震度 6 強となっており、こちらも十分な注意が必要です。



【滋賀県で津波は起こらない？】

「ほぼ起こらない」と言われています。しかし、2014 年の滋賀県の発表によると、西岸湖底断層系で断層変位が起こった場合、発生状況により、沖島港付近で最大 4.9 メートル、姉川河口付近で最大 3.0 メートルもの津波が押しよせる可能性があるとの調査結果²⁾も出ています。この地震が 300 年間以内に発生する確率はほぼ 0 パーセントのため、過度に心配する必要はなさそうですが、長浜市の神社遺跡からは 12 世紀に発生した津波のものとみられる痕跡³⁾が実際に見つかっています。

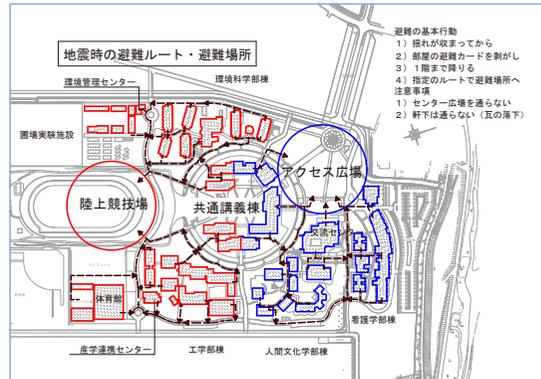
【『もしも』のときになにができるか】

滋賀県でも大きな災害が発生する可能性は十分にあり、災害が起こったときにどうすればよいか日ごろから考えておく必要があります。大学は高校までとは違い、その日、誰が、どこで、何をしているかを教職員が完全に把握することはできません。そのため、『もしも』のときには自ら考え対応し行動することが求められます。しかしこれは一朝一夕にできることではないため、平時の訓練を通して対応力と行動力を身につけておいてほしいのです。

出典 1) 「滋賀県地震被害想定」(概要版) 2014 年 3 月 滋賀県発行
 2) 「湖底断層の変位を仮定した琵琶湖における津波高さの考察」 2014 年 3 月 滋賀県防災危機管理局発行
 3) 「第 60 回企画展 塩津港遺跡発掘調査成果展 - 古代の神社と祭祀を中心に -」 2019 年 7 月 滋賀県立安土城考古学博物館発行
 4) 滋賀県防災情報マップ https://shiga-bousai.jp/dmap/help/jishin_lisk.html

【県大の消防総合訓練は全学生参加！？】

冒頭のとおり、大学では例年 11 月に地震および火災が同時に発生した想定で消防総合訓練を実施しています。



過去 3 年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訓練の規模を縮小していましたが、今年度は 4 年ぶりに全学生・教職員を対象とした通常規模とし、11 月 16 日に避難訓練および安否確認訓練を、30 日に通報訓練および消火訓練を実施しました。避難訓練では日本シェイクアウト提唱会公認のもと本学では初となるシェイクアウト訓練を取り入れたり、消火訓練では日頃触れることの少ない消火栓を実際に操作してもらったりと、毎年内容を工夫しています。来年度はどのような方法での実施となるかは未定ですが、まだ参加したことのない方はぜひ参加いただき、災害時の備えとしてほしいと願っています。



【非常食を食べたことがありますか？】

大学では、災害時に備え、非常食や非常用備品の備蓄をしています。非常食は常時 3,000 人分(× 3 食分)をローリングストックしており、毎年消費期限が近づいた 600 人分を消防総合訓練に併せて無償配布しています。非常食を食べたことのない方は、ぜひ一度食べてみてください。



受賞・表彰 (学年は受賞時点)

学 生

- 第 53 回毎日・DAS 学生デザイン賞 金の卵賞**
 〈プロダクト部門〉
 人間文化学部生活デザイン学科 (応募時) 4 年 山本 友香
 〈空間デザイン部門〉
 人間文化学部生活デザイン学科 (応募時) 4 年 長谷川 菜月

- 令和 5 年禁煙ポスターコンテスト 佳作**
 人間文化学部生活デザイン学科 3 年 清水 唯葉

- 第 77 回日本栄養・食糧学会大会 学生優秀発表賞**
 人間文化学研究科生活文化専攻健康栄養部門博士前期課程 2 年 梅田 朱里

- 「The 9th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies (EM-NANO 2023) 「Student Award」**
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2 年 奥村 吏来

- プラスチック成形加工学会第 34 回年次大会 優秀学生ポスター賞**
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 2 年 西山 亜希

- 第 72 回高分子学会年次大会 優秀ポスター賞**
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1 年 林 秀哉

- DA シンポジウム 2023 DA シンポジウム 2022 セッション 特別賞**
 工学研究科電子システム工学専攻 2 年 山下 太一
 工学研究科電子システム工学専攻 1 年 阿南 椋久

- 日本セラミックス協会 第 36 回秋季シンポジウム 優秀講演奨励賞**
 工学研究科材料科学専攻博士前期課程 1 年 谷口 真梧

- 応用生態学会第 26 回全国大会 優秀ポスター発表賞**
 環境科学研究科環境計画学専攻地域環境経営研究部門 1 年 安田 希亜良

- 応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会 優秀ポスター賞**
 工学研究科博士前期課程電子システム工学専攻 2 年 佐波 陽平

- 2023 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例発表京都大会 関西支部賞**
 環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程 2 年 丸山 泰誠
 環境科学部環境建築デザイン学科 4 年 田中 滯梨
 環境科学部環境建築デザイン学科 4 年 藤井 渚沙
 環境科学部環境建築デザイン学科 4 年 寺村 安也乃

教 員

- 滋賀県 看護功労者知事表彰**
 人間看護学研究院 准教授 古川 洋子

- プラスチック成形加工学会第 34 回年次大会「成形加工 '23」プラスチック成形加工学会論文賞**
 先端工学研究院 教授 徳満 勝久・准教授 竹下 宏樹

- 滋賀県看護協会 滋賀県看護協会長表彰**
 人間看護学研究院 教授 伊丹 君和・准教授 米田 照美

- 環境省・BEST・行動経済学会主催「ベストナッジ賞」コンテスト 2022 ベストナッジ賞 (環境大臣賞)**
 人間文化学研究院 准教授 山田 歩

- 第 65 回意匠学会大会 意匠学会作品賞**
 人間文化学研究院 准教授 佐々木 一泰

- 2023 年度日本アミノ酸学会 学会賞**
 人間文化学研究院 教授 福渡 努

- 2022 年度 (第 23 回) 環境情報科学センター賞 学術論文奨励賞**
 環境科学研究院 准教授 平山 奈央子

団 体

- 日本建築学会 日本建築学会賞 (業績)**
 環境科学部環境建築デザイン学科 陶器浩一研究室

- 日本赤十字社 金色有功章** 滋賀県立大学

- 滋賀県吹奏楽コンクール 金賞** 吹奏楽部

- 『社会を明るくする運動』 感謝状**
 あかりんちゅ 4 年 市榮 梨佳子
 未来看護塾 2 年 安部 智華

人 事

- 着任 2023 年 9 月 1 日付 星野 祥子 人間文化学研究院 講師
 着任 2023 年 10 月 1 日付 西澤 俊理 環境科学研究院 准教授



滋賀県立大学 公式 Instagram ページ
 [アカウント] @univ_shigapref
 [URL] https://www.instagram.com/univ_shigapref/

学生 Instagram スタッフ活躍中!
 ぜひ、フォローしてください!